

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月24日(金)

事務事業		消防分署耐震化事業		担当課	消防総務課	担当係	施設係	管理番号	4507	
総合計画	大項目	4	安心とやすらぎを感じられるまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	1	備えができ安全・安心なまちづくり		根拠法令 個別計画等	消防分署の耐震化計画				
	小項目	2	消防・救急体制の充実							
	主要プロジェクト	0	(未使用)							
事業概要		市内の消防施設の内、川本分署、藤沢分署、岡部分署及び豊里分署は老朽化が著しく、耐震補強も実施していない状況である。このことから、市民の安全と安心を守るため、地域の消防活動拠点である消防分署を建替えによって耐震化することで、地域の消防活動拠点を強化するものである。								
目的 ※何のために		市民の安全と安心を守るため。								
対象 ※誰・何を対象に		川本分署、藤沢分署、岡部分署、豊里分署								
手段 ※どのように		川本・藤沢分署の建替えは、令和元年度の完成に向け、岡部・豊里分署の建替えは、令和2年度の完成に向け必要な総合調整を行う。								
成果 ※何を求めるか		地域の災害活動拠点を強化するものである。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)
		一般会計	9	消防費	1	消防費	3	消防施設費	消防分署耐震化事業	506,908
		一般会計	9	消防費	1	消防費	3	消防施設費	消防分署耐震化事業	528,000
本事業の 主な業務		・消防分署の耐震化							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		・設計業務(川本・藤沢)・用地測量(豊里)・用地購入(川本・豊里)	・設計業務(岡部・豊里)・建設工事(川本・藤沢)・監理業務(川本・藤沢)	・建設工事(川本・藤沢)・建設工事(岡部・豊里)・監理業務(川本・藤沢)	・建設工事(岡部・豊里)・監理業務(岡部・豊里)	・旧川本分署解体設計	
事業費	予算(現額)	37,152,560	766,962,000	1,542,955,200	850,466,000	1,759,000	0
	決算額	35,071,735	250,026,444	900,396,056	658,557,964	1,034,908	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	30,100,000	231,200,000	800,200,000	585,500,000	0
		他特定財源	0	0	10,088,000	9,443,000	1,686,000
		一般財源	4,971,735	18,826,444	90,108,056	63,614,964	-651,092
人件費	従事職員数(人)	0.85	1.15	1.15	1.15	0.45	0.00
	人件費相当試算※	6,720,950	8,949,300	9,040,150	9,356,400	3,492,862	0
総事業費試算		41,792,685	258,975,744	909,436,206	667,914,364	4,527,770	0

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	耐震化工事進捗率	目標値	%	0	30	70	100	100	0	
		実績値	0	30	70	100	100	0		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		消防分署の耐震性を確保するため、消防分署の耐震化計画の進捗に合わせた目標値を設定 / 実績（成果品等）により把握							
	実績値の算出式									
成果指標 1	分署の耐震化率	目標値	%	0	0	50	100	100	0	
		実績値	0	0	50	100	100	0		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		災害時に消防分署機能を維持するため、4分署の耐震性を確保することを目標値とする。 / 耐震済の棟数／全棟数							
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	消防分署の耐震化時工事については、計画どおり令和2年度に完了することができている。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	消防分署の耐震化率については、令和2年度に100%となり地域の消防活動拠点の充実強化が図られている。
			評価者 課長補佐兼施設係長 飯野昌栄

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	C	消防分署耐震化事業の建替えによる耐震化は完了しており、利用を廃止した旧分署の管理等については常備消防施設維持管理事業と重複していることから、事業統合を検討する必要がある。
			評価者 課長補佐兼施設係長 飯野昌栄

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	旧岡部分署の利活用方法については、隣接する岡部総合支所との一体的な活用を検討することとなっているが、土地が整理されていないため、測量を実施し隣地との境界を確定する必要がある。
達成状況及び その効果	旧岡部分署の測量については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により隣接地の所有者との立ち合いが困難になり、年度内に境界を確定することができなかった。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	消防分署耐震化事業	担当課	消防総務課	担当係	施設係	管理番号	4507
<div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div> <div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div>		<div>評価の内容説明</div> <div>消防分署耐震化事業については、消防分署の耐震化が完了したことに伴い常備消防施設維持管理事業と統合する必要がある。移転後の旧消防分署の利活用等については、引き続き検討するとともに関係各課と調整を進めていかなければならない。</div>					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	次長兼消防総務課長 齊藤新一				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	地域の消防活動拠点である消防分署を建替えによって耐震化する目的は達成していることから、令和4年度は常備消防施設維持管理事業と統合し、旧消防分署の測量や解体工事等を進めていく。
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

